

令和2年度シラバス (地理歴史)

学番41 新潟県立見附高等学校

教科(科目)	地歴 (日本史B)	単位数	4単位	学年(コース)	2学年 (選択必修)
使用教科書	高校日本史B新訂版 (実教出版)				
副教材等	プロムナード日本史 (浜島書店)				

1 学習目標

1. 原始・古代から近現代までの歴史の流れを理解させる。
2. 人類が直面する課題を政治・経済・社会・文化・生活などさまざまな観点から考察させることによって、歴史的思考力を育てる。
3. 国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を育成する。

2 指導の重点

1. 単なる暗記に止まらず、日本史の流れを理解させる。
2. 史資料に親しみ、読み解く力を身に付けさせる。

3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	原始・古代 文化と国家の形成	教科書 副教材 プリント	<ul style="list-style-type: none"> ・日本列島から出土した遺跡などからそれぞれの時代の生活と文化・社会の特徴を考察する。 ・小国分立、邪馬台国の形成・ヤマト政権を理解する。 	10	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・定期考査
5	古代国家の確立	教科書 副教材 プリント	<ul style="list-style-type: none"> ・隋・唐・東アジア諸国の影響の中形成された、天皇中心の国家体制を理解する。 ・律令体制を基本とする古代国家を考察する。 ・平安京への遷都、蝦夷との戦争と律令制の再編の過程を民衆との関わりの中で考察する。 	15	
6	中世 中世社会の成立	教科書 副教材 プリント	<ul style="list-style-type: none"> ・中世社会を特徴付ける荘園公領制、院政を理解する。 ・武士の登場とや平氏政権と院政の関わりを理解する。 ・鎌倉幕府の支配機構がどのように整備されていたのかを考察する。また、北条氏の執権政治を理解する。 ・二毛作の普及と農工業・流通の発達を理解する。 ・モンゴル軍の日本侵攻失敗理由・原因を考察する。 ・仏教の新しい動向とその特徴を考察する。 	16	
7	中世社会の展開	教科書 副教材 プリント	<ul style="list-style-type: none"> ・建武の新政の崩壊理由やその後の内乱を理解する。 ・足利義満の権力掌握過程を考察する。 ・日本や琉球王国の東アジア貿易を理解する。 ・公家文化と武家文化の関わり、特徴を理解する。 ・惣村が蜂起し、徳政令を要求した理由を考察する。 	10	
8 9	近世 統一政権の成立	教科書 副教材 プリント	<ul style="list-style-type: none"> ・南蛮貿易とキリスト教の日本への影響を理解する。 ・信長・秀吉の政策を理解する。 ・朝鮮侵略を考察する。 ・徳川氏による全国支配の確立過程を理解する。 ・幕藩体制下の身分制社会を理解する。 	20	
10	幕藩体制の展開	教科書 副教材 プリント	<ul style="list-style-type: none"> ・文治政治を考察する。・商業・運輸の発達理由と民衆の暮らしを理解する。 ・幕府現政立て直しの政治改革を理解する。 ・欧米列強のアジア進出と幕藩体制に及ぼした影響について考察する。 	14	
11	近代 大日本帝国の形成	教科書 副教材 プリント	<ul style="list-style-type: none"> ・開国による政治・社会・経済の動揺と幕府の滅亡の経過を理解する。 ・明治政府による中央集権体制の確立過程と外交について理解する。 	16	

		教科書 副教材 プリント	・立憲政体をめぐる自由民権運動と藩閥政府との対抗関係を考察する。私擬憲法と政党の誕生を理解する。 ・大日本帝国憲法を日本国憲法と比較し考察する。		
12	大日本帝国の展開	教科書 副教材 プリント	・条約改正と国際情勢の変化について考察する。 ・日清戦争・日露戦争とが朝鮮や台湾・中国との関係を含めた複合的戦争であったことを理解する。 ・産業革命がもたらした社会問題と、労働運動、社会主義運動の関係を考察する。 ・大正デモクラシーの高揚の中で護憲運動が展開されたことを理解する。 ・第1次世界大戦と日本の中国侵略強化を理解する。 ・1910～20年代の社会運動の展開を理解する。	14	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト
1	15年戦争と日本・アジア	教科書 副教材 プリント	・協調外交の転換を経済面・外交面から考察する。 ・軍部の台頭とファシズム体制、中国との全面戦争、国民が戦争に動員されていく過程を理解する。 ・戦時経済が崩壊し、国民生活が破壊されたことを理解する。	10	
2	現代戦後改革と高度経済成長	教科書 副教材 プリント	・連合軍総司令部による民主化諸改革を理解する。 ・日本国憲法の内容を理解するとともに国民が憲法をどう受け止めたのかを考察する。 ・アメリカの対日占領政策の転換理由を考察する。 ・サンフランシスコ平和条約締結について考察する。 ・新安保条約反対運動が盛上がった理由を考察する。 ・高度経済成長によって国民生活はどう変化したのかを理解する。沖縄の日本復帰を理解する。	10	
3	現代の世界と日本	教科書 副教材 プリント	・高度経済成長が終焉した理由を考察する。 ・日本の国際貢献について考察する。 ・新自由主義経済体制の進展とそれに対抗する住民運動が展開されたことを理解する。	5	

計 140 時間 (50 分授業)

4 課題・提出物等

毎学期ごとに授業ノートの提出。
定期的な小テスト。
その他の提出物はその都度、指示する。

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・問題意識を持ち、意欲的に追究している。 ・諸課題に主体的に関わる態度を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多角的に考察し、変化を踏まえて公正に判断している。 ・考察・判断の過程や結論を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・有用な情報を適切に選択することができる。 ・学び方を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な知識を身に付けている。 ・地理・世界史と関連付けながら理解している。

以上の観点を踏まえ、定期考査・小テスト・日常の課題・休業中の課題・授業中の態度等から総合的に判断して行う。